

2017年6月

 琉球国際航業株式会社

Velo-city 2017 Arnhem - Nijmegen で研究発表を行いました

「Velo-city」とは、欧州サイクリスト連盟（ECF=The European Cyclists' Federation）が主催する、自転車利用に関する最大の国際会議です。会議では自転車の日常利用とレジャーとしてのサイクリングの両面の振興と充実を促すための情報提供、議論、提案が行われます。

この会議は1980年にドイツの自転車連盟が主導してブレーメンで発足し、その後、コペンハーゲン、ブリュッセル、バルセロナ、モントリオールなどの都市で開催されてきました。会議には、現在50以上の異なる国から1,500人以上の方が参加し、260人以上の発表者が、各国の自転車政策の方針や推進計画への提案をまとめ、自転車利用のための環境整備や政策立案の方法論などについての知見を広めます。

参加するのは政治家、政府や自治体の首長を含む政策立案者、交通政策担当者、都市計画家、建築家、社会プロモーター、学者・研究者、環境保護活動家、自転車関連企業など、国境を越えて世界中に自転車活用による利益を供給する意欲を持った人たちです。EUでの活動を踏まえて、得られた専門知識を必要とする世界の都市と連携するため、ECFは「Velo-city」をEU域内で奇数の年に、他の6つの大陸のいずれかの都市で偶数の年に開催することとしています。

■大会名

Velo-city 2017 Arnhem - Nijmegen

■開催期間

2017年6月13日～2017年6月16日

■開催場所

オランダ（アーネム、ナイメーヘン）

■参加者

技術部 部長 山崎 晴彦

技術部 主任技師 大門 達也

■発表テーマ

Cycling Island Okinawa “Churashima Cycling”(beautiful island cycling)

(サイクリングアイランド沖縄～美ら島サイクリング～)